

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



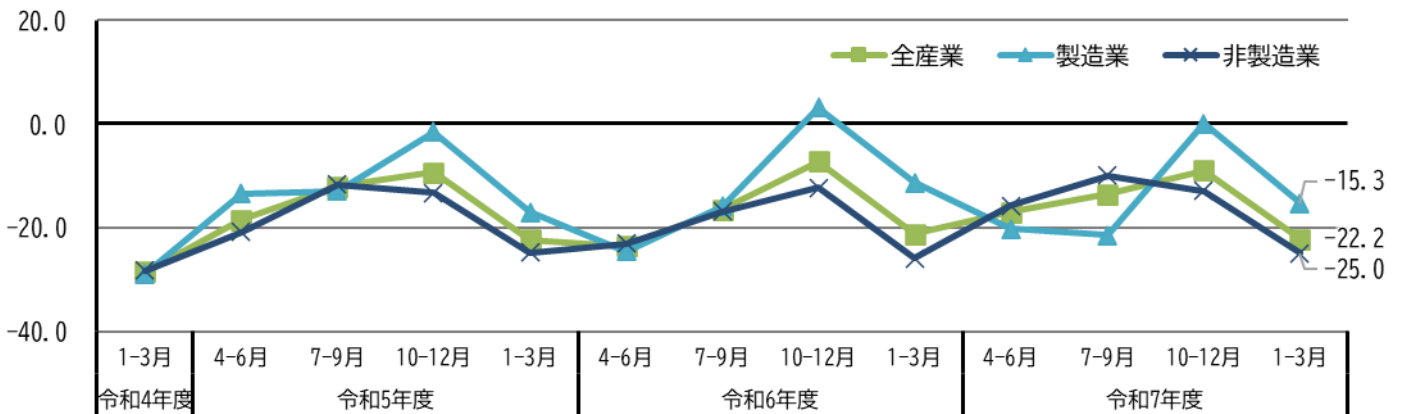
業況判断DIは全産業、製造業、非製造業のいずれも悪化

- ◆製造業規模別の業況：大企業は横ばい、中小企業は悪化。
- ◆非製造業業種別の業況：建設業で改善、卸売業で大幅な悪化、小売業、サービス業で悪化。
- ◆収益（前期比）：全産業、製造業、非製造業のいずれも悪化。
- ◆市内での調達・業務委託等：「ある」が52.5%。

◆業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

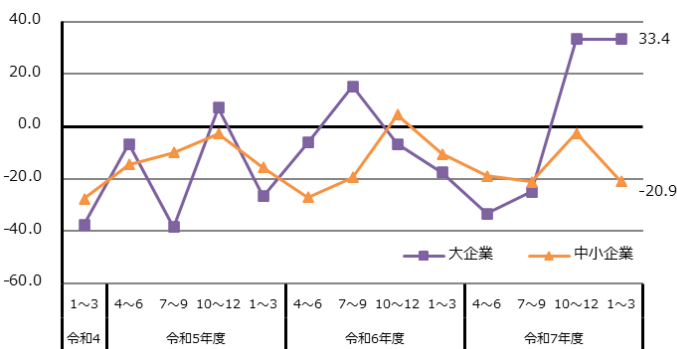
<全体>

業況判断DIは、▲22.2（-13.2）で悪化しました。業種別では、【製造業】は-15.3（-15.3）、【非製造業】は▲25.0（-12.1）でいずれも悪化しました。



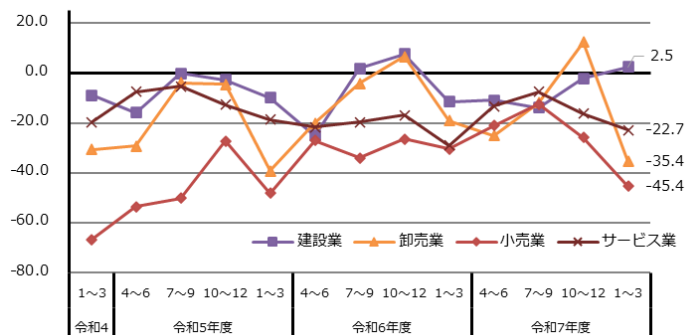
<製造業（規模別）>

【大企業】は33.4（+0.1）で横ばい、【中小企業】は▲20.9（-18.4）で悪化しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は2.5（+4.5）で改善、卸売業は▲35.4（-47.9）で大幅に悪化、小売業は▲45.4（-19.6）、サービス業は▲22.7（-6.6）でともに悪化しました。



DIとは

景気動向指数「ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

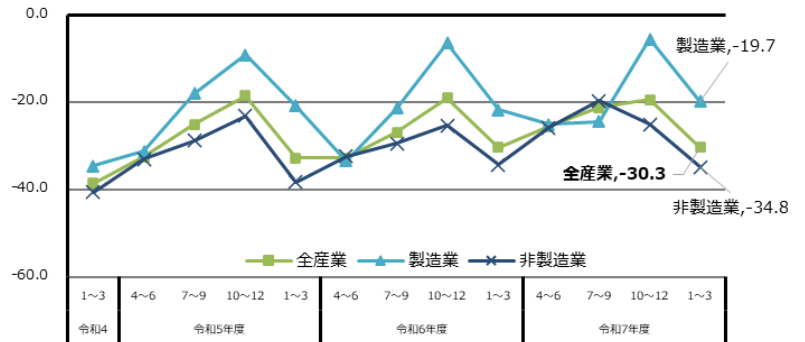
◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

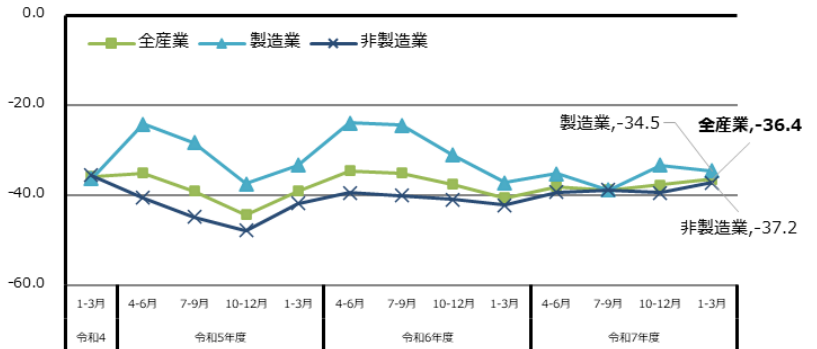
◆収益（前期比）

- ・収益 DI は、全産業で、▲30.3 (-11.0) と、悪化しました。
- ・製造業は▲19.7 (-14.2)、非製造業は▲34.8 (-9.8) と、ともに悪化しました。



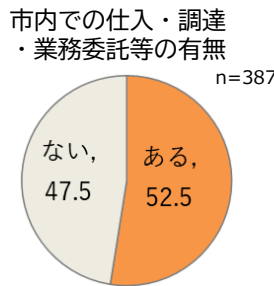
◆従業員の過不足

- ・従業員の過不足 DI は、全産業で▲36.4 (+1.3) と上昇し、不足感が緩和されました。
- ・製造業は▲34.5(-1.2)と不足感が強まりました。非製造業は▲37.2(+2.3)と不足感が緩和しました。

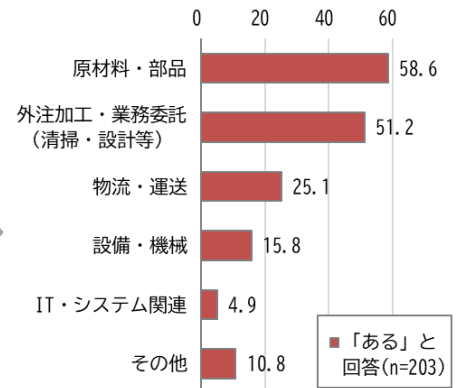


◆尼崎市内からの仕入・調達、市内事業所への業務委託等

- ・尼崎市内で仕入れ・調達、市内事業所への委託等の有無について、「ある」と回答した事業所は 52.5% でした。
- ・「ある」と回答した事業所の仕入・調達、業務委託等の内容は「原材料・部品」が 58.6%、「外注加工・業務委託(清掃・設計等)」が 51.2%、「物流・運送」が 25.1% という順で多い、という結果となりました。



仕入・調達・業務委託等の内容



<本資料の問い合わせ先>

- 尼崎市 経済環境局経済部 イノベーション推進担当
 - (公財) 尼崎地域産業活性化機構 OIC 推進室
- <https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

担当：南條・織田
担当：宮崎・桂山

連絡先：06-6489-6675
連絡先：06-6488-9534